



たして、たして、  
ワクワクさせる  
- イベント事例 -

and  
and+

ソーシャル ポップ カルチャー  
**Social Pop Culture 2018**  
at 渋谷ロフト

2018年10月16日(火)～31日(水) 渋谷ロフト1階  
間坂ステージにおいて and and+が主催するイベント  
「Social Pop Culture 2018」を開催しました。

さまざまな個性を持つクリエイターのアート作品と企業が  
コラボレーションして生まれた新しいソーシャルバリュー。

さまざまな作品にワクワクして、ワークショップにも  
参加できるイベントとして多くの方が訪れました。



かわいい！面白い！

## ライターYのワクワク体験レポート

Social Pop Culture 2018 at 渋谷ロフト



ライターY



and and+

つねに新しい情報が発信され、多くの人々が行き交うエキサイティングな街・渋谷。クリエイティブなアイデアや商品に出合える「渋谷ロフト」で面白いイベントが開催されていると聞いて、私・ライターYが訪ねました。

おしゃれな雑貨やステーションナリー、ビューティアイテムなどがたくさん揃う人気スポット「渋谷ロフト」。感度の高い人たちが集まるだけでなく、ちょっと変わった東京土産を求めに外国人旅行客も訪れるとか。エントランスを入ったすぐのスペースで開催されていたのが「Social Pop Culture ソーシャルポップカルチャー」です。イベント名通りにポップな世界が広がっていて、すごく楽しそう！

## たくさんの人の想いや力が重なって

迎えてくださったのは「and and +」CEO でありブランドプロデューサーの浅川浩樹さん。イベントについて、あれこれうかがってみました。

### Q. Social Pop Culture ってどんなイベントですか？

A. 私たち「and and +」が掲げている「たして、たして、さらに加えて」を体験できるイベントです。特別協賛のアトリエ系福祉施設「studio COOCA」と「メジロック」に所属してアートを創造しているハンディキャップのあるクリエイターたちの作品を中心に展示しています。アート作品やアートから生まれたオリジナルグッズを展示販売するとともに、この活動に共感してくださった企業とコラボレーションすることで、アートの持つさまざまな魅力がさらにスケールアップされて、みんなの魅力をたして、たして、さらにワクワクできるのです。

### Q. このイベントを開くきっかけは？

A. 社会福祉って一般的にとっつきにくいイメージだったり、特別な目で見られることがあると思います。でも難しくとらえられがちな社会福祉が、カジュアル&ポップでワクワクするものになる。それを知ってもらい、体感してもらえる場として開催しました。

きっかけは、アトリエ系福祉施設のクリエイターの作品と出会い、おもしろい作品がたくさんあること、知られていないけどすごいアーティストがたくさんいることに感動したことも大きかったですね。訪れた方の日常に、アートや社会福祉が気軽に向き合える身近なものとして浸透していけば嬉しいです。

Social Pop Culture の「ソーシャル」には、まだ日の目を見ていないアーティストを社会とつなげ、広めていこうという想いがあるんですね。

おもしろい、かわいいがたくさん詰まっているこのイベント、この場にいることでワクワクできる、ワクワクをここからさらに広げていける喜びも生まれていました。

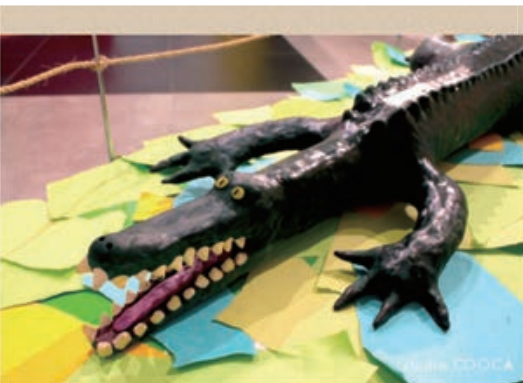
### 作品をどーんと大きく、顔はめパネルに！

パネルに吸い寄せられて会場に入り、展示を楽しんでいる人たちもたくさんいました。



### 見て楽しい！ 知ってますます興味深い！

おもちゃ箱のような楽しさに溢れているイベント会場。協賛の「リンテックサインシステム株式会社」が、楽しい空間創りをサポートしてくれたそうです。床には、渋谷の街をポップに描いたイラストが！「studio COOCA」人気アーティストのひとり、横溝さやかさんが描きました。ここで出合ったアートやグッズと一緒に渋谷を歩くと楽しくなる、そんな予感がします。



## 「好き」が伝わる、「描きたい」が伝わる

壁面に並んでいるのは、アトリエ系福祉施設「studio COOCA」と「メジロック」に所属する、さまざまなハンディキャップを持ったアーティストたちの作品です。



パツと目をひくキャッチーな作品、細部まで緻密に描かれた作品、大胆なインパクトのある作品。どの作品にも共通して感じることは、自由さ。アーティストの「描きたいから描いている」「好きだから描いている」という気持ちや描いているときのワクワクが、見ている私にも伝わってくるのです。

額のような縁取りが印刷されているのもユニーク。お気に入りの作品を、このまま自宅の部屋に飾りたくなります。

## 独創的なアーティストがたくさんいる

ハンディキャップのある方々が創った作品はグループ展などで紹介される機会があっても、ともすればそれだけになってしまいがちだとか。

それでは、もったいない。

こんなに面白くて独創的な作品を創るアーティストがたくさんいることを知り、一人ひとりがどんな個性を持っているのかスタッフのみなさんにうかがって、ますます興味を抱きました。



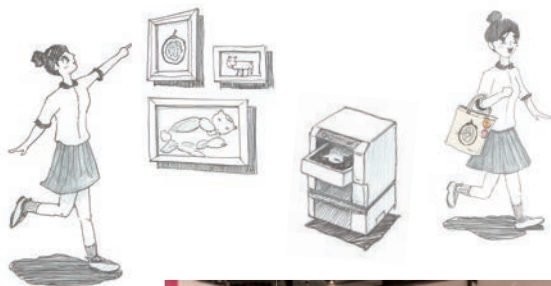
Photo/MEJIROCK

「studio COOCA」の人気アーティストのひとり松本倫子さんの作品（現在は独立して活動中）。目がひきつけられる不思議な柄の猫は、松本さんの愛猫だそうです。



私・ライターYが個人的にいちばん気に入った作品です。「×ジロック」に所属する浅海平さんが好きな、侍と動物を描いたユニークな発想に惹かれました。

## お気に入りアートを トートバッグに



お気に入りの作品をトートバッグにできるワークショップも開催。

トートバッグ専門ブランド「ROOTOTE」とのコラボにより、選んだ作品をその場でトートバッグにプリントできちゃう。作ったばかりのトートバッグを片手に渋谷を歩くとワクワクがもっと広がりそう。



## グッズでアートを気軽に買える！

アトリエ系福祉施設「studio COOCA」「メジロック」で製作されている雑貨も展示販売されています。アート作品をプリントしたTシャツやトートバッグ、ポーチ、クッションから、ノートブックやペンケース、ポストカードやふせんなどのステーショナリー、カレンダー、アロマキャンドル、缶バッジやマグネットなどなど。どこでも持ち運びたくなるグッズ、ずっと手元に置きたくなるグッズ。気軽に買えて、誰かに教えたり、自慢したくなるものがいっぱいです。



and  
and+

アトリエ系福祉施設「studio COOCA」「メジロック」で製作しているグッズ以外に、トートバッグブランド「ROOTOTE」とのコラボレーションによってお気に入りのアート作品をその場でバッグにプリントも。アーティストの個性や力に企業の専門性を「たして、たして、さらに加えて」いくことで、このほかにも新しい発想でおもしろいもの、素敵なものが生まれる予感。多くの人たちに彼らの豊かなアートが知られて、アーティストたちにとっても企業にとってもプラスが広がっていきそうです。





## 描いて、創って、ワクワク・ワークショップ

訪れた人が参加してさらにワクワク体験ができるワークショップも開催していました。ふらりと参加した方が終わった頃には笑顔になってワクワクを持ち帰っていく。どのワークショップでも、そんな時間を多くの方が楽しんでいたようです。



・ROOTOTE とのコラボによる、ワクワクした作品をその場でトートバッグにして、すぐに渋谷の街にアートを持ち出すワークショップ



×ジロック アーティスト  
ひでおき氏  
「似顔絵の缶バッジづくり」  
ワークショップ



・studio COOCA アーティスト  
伊藤 太郎氏「一千億万欲しい！  
開運熊手」づくりワークショップ



・studio COOCA アーティスト  
横溝 さやか氏 会場入り口の床  
作品「SHIBUYA」を描いたアー  
ティストのライブペインティング

その場にいた人たちと、ハロウィンを  
テーマに即興で描いた。

## 熊手づくりにチャレンジ!

私・ライターYは、熊手づくりワークショップに参加。

熊手をつくるためのお絵かき段ボールを渡されて、そこに好きな絵を描くのです。私は猫、ペンギン、犬、月と猫、花などのイラストにしました。描いたらさみでチョキチョキ。伊藤太郎さん作の開運イラストや開運文字の中から好きなものを3つ選んで、切り抜いた自分の絵と一緒に熊手の枠に貼り付けます。

自分のオリジナル熊手ができたら太郎さんに渡すと丁寧にビニール袋に入れてもらえます。そして開運を願う祝詞をと覚えてもらい、最後は会場にいる人たちみなさんで拍手を打ってもらいました。マジックやサインペンで絵を描いたり、切ったり貼ったりする作業もものすごく久しぶり。私もそうでしたが、一緒にテーブルを囲んで熊手をつくっていた方々も、子どもに戻ったみたいに真剣な様子です。

手を動かして集中できて、開運パワーをもらえたワクワク時間になりました。



「家内安全商売繁盛恋愛成就…」  
しっかり開運祝詞をと覚えてくださった太郎さん。恋愛成就に、心ひそかにデモンションありがとうございました。



## 「特別」を「普通」に

### ライター Y が思ったこと、感じたこと

わずかな時間でしたが、ワクワクした体験ができた「Social Pop Culture」。すごいアーティストさんたちや作品の数々に感動し、こんなに素敵なアーティストや作品をもっとみんなに知ってもらいたいという気持ちがわきあがってきました。



「多様性」という言葉が広がり、いろいろなシーンでハンディキャップのある方々が活躍する場が増えていると思います。その一方でお住まいの地域などさまざまなことで、活躍の機会を得られない方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、ハンディキャップのある方のアートについて、何か「特別」なもの、「意識の高い人がやっていること」などと一歩引いて見る方も少なくないかもしれません。

私が訪れて思ったのは、「and and +」の取り組みにより、さまざまな企業や集団とつながり続けることで、それは「特別」なことではなく「普通」のこと、すごく面白いアートやポップでかわいいグッズをもっと気軽に手に取れるものとして伝わっていくのではないかと感じました。

近い未来には、特別な事業や取り組みではなく、普通のビジネスとしてみんなに知られるようになるかもしれない。そうしたら、ワクワクがもっと広がっていくことでしょう。



特別協賛、協賛、ご協力ありがとうございました。

## 特別協賛

### ROOTOTE (ルートート)

「Fun Outing ! ~楽しいお出かけ! ~」がコンセプトのトートバッグ専門ブランドです。使用シーンに最適な大きさや形、豊富なデザインバリエーションを常に提案しています。普段使いに便利な機能を備えたデザインは、お気に入りのルートートを探す楽しさを幅広い年代の方感じて頂けるはず。限定品やコラボレーション企画も多数展開しています。目印はRマークのブランドタグ。カンガルーのおなかの袋からヒントを得た「ルーポケット」がアイデンティティです。

<http://rootote.jp/>

### [studio COOCA]

神奈川県平塚市にある福祉施設。さまざまなハンディキャップを持った人が、その人の好きなこと・得意なこと活躍する、仕事を得ることを目的に活動しています。神奈川県平塚市のスタジオを拠点に、絵画・創作・オリジナルグッズ製造・展示販売やパフォーマンス活動を行っています。

<https://www.studiocooca.com/>

### [メジロック]

目白+ROCK=メジロック。豊島区立目白生活実習所・目白福祉作業所を拠点に、所属するアーティストたちがさまざまなものづくりを展開しているブランドです。モノづくりやアートを通して、地域の子どもたちとの時間を楽しんだり、図書館でのイベント、コミュニティスペースでの展示会など、まちを彩る活動も広がっています。いろんな価値観をひっくるめ、ゆるーく(時には)熱くつながっていきたいと思っています。

多くの企業・アトリエ系福祉施設・学校法人の方々の力をお借りして「Social Pop Culture 2018 at 渋谷ロフト」を実現できました。心より感謝しています。

<http://www.ikuseikai-ky.or.jp/~iku-mejiro/mejirock.html>

## 協賛

### リントックサインシステム 株式会社

リントックサインシステムは、街並みや建物、インテリアを含めたサインディスプレイをトータルにご提案しています。街の景観にあったサイン、ショーウィンドーをはじめ、インテリア、車両ボデーに至るまで屋外、屋内を問わずリントックサインシステムの機能製品があらゆる場所で活躍しています。

<http://www.sign-japan.com/>

## 協力

### 株式会社 ロフト

『時の器』時代のニーズや空気感、トレンドなどをしなやかに切り取り売場や商品を通じて提案しています。現在全国 116 店舗（2018 年 12 月時点）を展開しています。売場面積や品揃え、売場の見せ方はマーケットに合わせて様々ですが「なにかある」「きっとある」という売場創りのこだわりは全店舗共通しています。「用事がなくてもロフトに行けば何か新しいコトやモノに出会える」「いつものお気に入り」をロフトに買い行こう。そういったお客様の期待に応える店創りを心掛けています。

<https://www.loft.co.jp/>

### 株式会社 ワイズコーポレーション

株式会社ワイズコーポレーションでは、画材・デザイン用品のご提案・販売を通じて、全国の販売店・学校・業者様とお取引を展開しております。

<http://www.wisecorp.net/index.html>

### 「con\*tio」

#### 障害のある人と社会をつなぐ代理店

福祉の現場・ひとの魅力を引き出せるような役割を通して、主に関東の障害福祉のネットワークづくりに貢献することを目指しています。クスっとできる小さなことを積み重ねていくことで、きっとわたしたちが暮らす世界は変わっていくのではないかと思っています。

<http://contio.info/>

## 後援

### 事業構想大学院大学

いま、日本に足りていない人材は企業や行政などの組織を変革できる人材です。それも、長期的な視点をもった「新しい産業」を生み出すような事業を生み出し、育てていく人材が足りていません。

MPD（事業構想修士）では、未来を見据えた、新しい事業を創出し、育成します。

MPD は、新規事業を構想するための研究であり、日本ではじめて、実践教育の場を提供したのが「事業構想大学院大学」です。

<https://www.mpd.ac.jp/>